週刊 時事経済

発行所
平市新川町1
電 6415
発行人 田原 登
毎月 15日 発行
印刷所 加納活版所

勉強で評判の店
丸萬家具店
店舗 平市四丁目 電六六三三
工場 平市白銀町 電六六三四

## 現在 出馬声明は三氏
### 新市長選無気味な沈黙

いわき市の新市長選挙を十月なかばに迎えて早くも告示なき前哨戦がぽつぽつ始っている。いまのところはっきり出馬を声明したひとは平市長大和田弥一、磐城市長三代義勝県議大井川正己の三氏だけである。しかし内郷市長鈴木喜政、四倉町長鈴木常松両氏も話題のひとでまだはっきり出馬を声明しないが無気味な沈黙をつづけている。大和田平市長の後援会長には前市長諸橋久太郎氏が推され、また保守系市議三十名も一本化して大和田支持の態勢をかためている。

三代市長は足許から大井川県議が打って出るので少なからず影響があることを予想し、対策をねっているようだ。新市庁舎は平市か磐城市かの問題から一部に南北戦争の様相を呈するだろうと見る向きもあり、また新市庁舎は既に自治省でも平市に内定しているので市庁舎位置問題は票かためのロ実にすぎないと宣伝するものもあって、はっきりしたことは判らないが、何しろ東北地方第二位の大市の市長の椅子は極めて重要なものだけに十九万選挙民の関心は強く注視されている。

## 七浜へ50万人目標
### 海水浴客誘致に大童

ことしの夏はいわき七浜で楽しもう——と、常磐地区観光連盟は十三日から埼玉、栃木、茨城、中通り地方に観光キャラバンを送ったのをはじめ、続いて平市、市観光連盟も二十日から県内、栃木、埼玉へ宣伝隊を出し五十万人の客の誘致につとめる。とくに平市が〝県下一〟の海水浴場と自負する薄磯海岸は灯台を背にした観光地で、ことしは五十万人の客を集める計画。いわき地方の海水浴場は、勿来の海岸、磐城市の永崎、平市の薄磯、石城郡四倉、双葉郡久の浜といづれも交通の便がよいうえ、景勝地で年々客がふえ、とくに関東地方からの団体客が目立っている。関係市町、地元観光協会は、脱衣場の整備、駐車場の建設観光みやげ品の選定と受け入れにつとめている。

なかでも平市薄磯海岸は、白い砂浜から白亜の灯台がながめられさらに灯台の下には三千一むね（一むね四人用）のバンガロー村も建設され、冬場を除いては観光客があとをたたない。昨年の夏場（七八月）はのべ三十八万人の客が訪れ、バンガロー村は超満員。観光連は今年こそ五十万人の大台を突破させようと大型バス六十台を収容できる駐車場を増設、また脱衣場も今年は三つふやして十カ所に設け、さらに観光みやげ品の売店なども設置する。

## また平名物一ツ
### 25日水泳プールオープン

一億三千万円をかけて平市北白土につくった水泳プールとスケートリンク場は平冷蔵KKの経営で、その名をいわきスポーツセンターと名づけ愈々来る二十五日華々しくオープンする。正に浜通り唯一の堂々たる本格的施設でまた名実ともに平名物の一ツにあげられている。当日は気温が低いときは温水プールにして高校水泳大会や中央から斯道の大家を招き模範水泳の披露もする予定となっており、早くも学校、会社など団体からの申し込みや照会もあって前人気を呼んでいる。

不健全な娯楽機関ばかり多い時代にこうした心身ともに鍛練のできる健康的施設のできたことは地方青少年育成のためにもよく、それを狙って鈴木常松社長はこの施設の建設にふみ切ったものだが、脱衣場も完成して当日を待たれている。

× × ×

## 物見櫓

事業は時代にマッチしたものでないと発展しない。先祖代々やってきた事業だからとどこしよう大事に守っていても衰退するばかり

▼しかし時代に相応した仕事でも人間を大事にしない所は頽廃する。その生きた例はそこにも此処にもある▼東北金属の鈴木社長は三、四十年も前に台北市で使った人々のことが忘れられず、このほど九人を捜し出して大歓待し、そのむかしを偲び合って感謝された▼こうした美しい気持があるため現在経営している事業も隆々発展している。善因は善果を生むのである。事業経営者はよろしく自己を立派な人間に仕立てることが肝要である。

### 五月の手形交換54億円

平手形交換所五月の交換高は一万六千六十一枚、五十四億六千四百六十九万九千円。不渡手形は四百十九枚（前月より三十枚減）で、このうち二十八件（百二五万七千円）が取り引き停止処分になっただ

## ——労使関係の人情美談——
# 40年前の主従再会
### 鈴木新兵衛さん念願達成

権利ばかり強く主張し、義務を軽んじて人間関係の最も重要な〝人情〟が紙よりも薄くなった現代世相のなかにあって、三十年—四十年前ものむかし主従の関係であったことが忘れられず、主人が従業員たちを招待し、大いに歓をつくしたという人情美談があり、街の話題となっている。

話の主人公は平市正月町東北金属化学研究所の所長鈴木新兵衛さん（六八）である。氏は磐中を中退して青雲の志を抱えて台湾に行ったのが今から五十年前、台北市においてかん難辛苦の生活から身を起して生ばん屋という物産みやげ店を開き、ヘビの皮を加工して財布や草履、帯び止めなど美術的加工品の製造に成功して隆々発展、生ばん屋の名を知らぬ者がない程にのし上った。その当時店に働いた従業員たちのことが忘れられず、いつか再会できる日が来ることを念願していたが、ついにその喜びの日は来たのだった。

何しろ今から数えて三十年から四十年も前のことなので当時の従業員はどこにどうしているのか、それを捜すのにもひと苦労だったが、幸にも現在諸橋金物会社の重役になっている湯山富士夫氏らの協力を得て至国的に捜した結果左の九名が生存していることが判ったので、去る五、六の両日湯本の松柏館に招待、鈴木さん一家総出で歓待、むかし話につきるところがなかったが、台湾時代は主人公も従業員もみなはつらつたる青年だったが、今は頭に霜をいただく老境に入っていた。しかし何れもその生涯に努力の甲斐があって夫々の道で成功している人々である。招待した主人公側では遠来の客には旅費も送り、マイクロバスで七浜の景勝地を案内、ハワイアンセンターで南国情ちょを満喫したうえ松柏館に一泊、土産品はワイフのため真珠のネックレスを贈るなど至れり尽せりの歓待ぶりに感謝感激の二日間を終ったが、兎角人情が薄れがちの現代世相のなかにあって斯うした美しい行為は珍しく話題を賑わしている

鈴木新兵衛氏談＝まだ若かった時代、台北で一緒に働いてくれた従業員たちと是非一度会ってお礼をしたいと思っていたことが、ようやくできてこんな嬉しいことはない。みんな白髪になったが大へん喜んでくれた

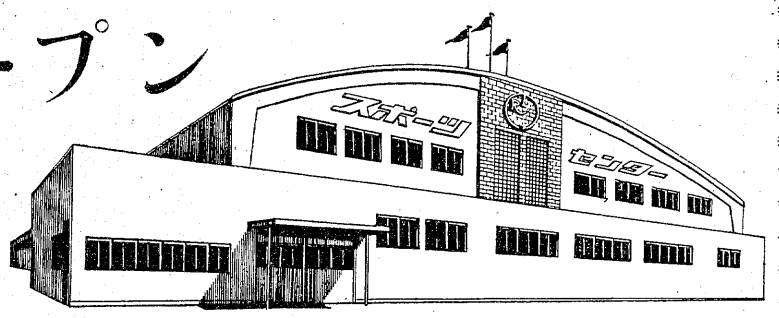
鈴木氏は町の発明家で有名、ライター石製造では押し出し式製法に成功、ドイツのザイス社に次ぐ高能率で日本一、また光学レンズ研磨剤のランタンも製造、世界を相手に商売隆々発展している。

なお招待された人は中村弥七（三量県松坂市）小松健（横浜市）手島元晴（逗子市）鉄武男（東京都材並区）菊地武之運（北茨城市）片寄末蔵（平市上片寄）国府田良平（平市銀治町）鈴木昌男（同正月町）湯山富士夫（久之浜町）

（写真は集った人々中央洋服姿が鈴木さん）

6月25日水泳プールオープン

おとなだけの娯楽場の多い昨今、誰れにでも気軽に楽しめる健全なスポーツの殿堂、水泳プールをかねた屋内アイススケートリンクを造りました。屋内温水プールで衛生設備が完備、またスケートリンクは国際規準公認の本格的な設備で万全を期しておりますからきっとご満足いただけることと思います。是非一度ご来場お楽しみ下さい。




いわき スケートリンク 水泳プール
スポーツセンター
平市北白土字荒田22　平冷蔵株式会社　TEL.9281～4

◎交通案内
※平駅より徒歩15分
※バス（平駅前より）
◈片浜線豊間廻り新川町下車徒歩五分
◈夏井行鎌田入口下車徒歩2分
◈市内循環線五色町下車徒歩5分

◎水泳プール　入場料　◎営業時間＝平日10～21時　日曜祭日9時～21時

| | 大人 | 高校生 | 中学生 | 小学生 |
|---|---|---|---|---|
| 1日 | 200円 | 180円 | 150円 | 100円 |
| 17時以降 | 100円 | 90円 | 70円 | 50円 |

◎観覧料……30円　（団体割引あります）

# 一五六ヘクタールも減る
## 米の増収でカバー

県石城郡事務所で調べたことしの稲の作付面積は、水稲は昨年より八十九ヘクタール少ない七千六百八十七ヘクタール、陸稲は六十七ヘクタール少ない百十二ヘクタールの計七千七百九十九ヘクタールを見込んでいる。これは昨年より百五十六ヘクタールも少なく、農地のつぶれたことが大きな原因。生産量は三万一千三百六十九トン（二十五万七百五十二俵）とはじき出しているが、農家人口が八万七百五十八人いるため、このうち種用も含めた保有米量は一万六千七百三十一トン、従って売り渡し可能数は二十四万四千百六十俵を見込んでいる

新産業都市建設途上にある常磐地区は、工業用地、住宅団地造成などによって、多くの農地が毎年姿を消しているが、県は今年から農家の所得を図る一環として、十年後には十アール当り収量十俵を目標に、四・六米づくり運動（四割増収、六割省力）を展開し、年々収量を上げていくという。市町村別の水稲作付け面積（カッコ内は昨年実績）と生産見込み数量は次のとおり。

▽遠野町＝五百十六ヘクタール（五百十八）三万七千九百四十七俵▽田人村＝百五十六ヘクタール（百六十）九千四十七俵▽好間村＝二百二十五ヘクタール（二百二十六）一万六千九百四十九俵▽小川町＝三百七十五ヘクタール（三百七十九）二万六千三百九十四俵▽三和村＝五百三十三ヘクタール（五百三十三）三万七十九俵▽四倉町＝八百九ヘクタール（八百十）六万二千五百六俵▽川前村＝二百十三ヘクタール（二百十三）一万二千百六十八俵▽平市＝一千九百百三十ヘクタール（一千九百四十一）十二万五千八百七十八俵▽常磐市＝四百十七ヘクタール（四二十二）二万八千四百六十九俵▽磐城市＝一千四百六十一ヘクタール（一千百九十八）八万五千百九十一俵▽内郷市百二十四ヘクタール（百二十八）七千七千三百三十七俵▽勿来市＝一千二百三十八ヘクタール（一千二百四十八）八万八千七百六十俵

# 来年四月に着工
## （十条製紙）

十条製紙に土地を売って工場で働く予定だった農家の人々のうち、地代を消費して仕舞って日雇い人夫に転落するという悲劇を生むに至り、十条製紙の着工が関係方面から大いに待たれていたが、このほど同社の山田専務、岡島調査役が勿来市を訪問、赤津市長らと懇談したが、明年春四月までには本格的に着工し、四十三年四月に操業することで関係者をホッとさせている。

# 中国見てある記【5】
## ―撫順、南京、上海、杭州―

新井唯一

### ―友愛は恩讐を越えて―

瀋陽（元の奉天）から四七キロ、街路樹の美しいハイウェーの彼方に露天掘で有名な撫順の街があった。七千カロリーの石炭が無尽蔵だという酷寒冷下三〇度、粉雪にけむる静かなこのヤマにも拭いきれない戦争の痛ましい爪跡があった。昭和七年夏、日本軍の手で五百世帯、三千人を皆殺しにしたという平頂山事件の惨殺現場で私たちは慰霊の花輪を捧げ日中再不戦、永久の平和を誓って悔悟の涙にむせび肩をふるわせて泣いた。この事件で親、子妻など一瞬にして一家のすべてを失い九死に一生を得て今は静かに養老園の片隅で余生を送っているというたった二人だけの生き残りにも会った。当年とって六〇才、彼等は遠いあの日の悪夢をたどり地獄絵に思いを馳せ歯をきしませコブシを固く握りしめながらおえつと共に惨劇のもようを語ったが別れぎわ「一切は遠い昔の夢とあきらめています。人が人を殺す惨劇は二度と再び繰り返すまい。同じ髪の色、そして肌の色も同じだ。アジアの平和の為にお互に助け合おうネ」こう云ってシワクチャの細い手を固く握りしめ老眼をしばたきながら友好のほゝ笑みを見せてくれた。何というすばらしい友愛の心であろうか、恨みに怨をもってせず怨讐を越えた中国人民の友愛の姿にまたまた感激の涙を禁じ得なかった。

### ―街路樹の町、南京―

撫順から再び瀋陽を経て北京えと訪中の旅は続いた。北京から二六人乗り双発機で一路南京えと向う。高度一八〇〇米、時速三二〇キロ、約一時間二十分で途中の帰航地済南え着陸、南京は大雨のため視界がきかず予定を変更ここに一泊と決る。翌朝、泰山を左に見て一気に五四〇キロを飛んで南京に着いた。道路の上に屋根のように拡がったプラタナスの街路樹の見事な街である。人口一六〇万、二千四百年前から栄えた古いこの都は一九四九年の解放后急速に発展し、労働人口三〇万、千人以上の従業員をもつ工場が三十余カ所、自動車、旋盤機械、光学製品などをつくり出す生産都市に生れ変り文教面でも大学一七、中等技術学校、小中学校など学生人口四十万人という。街を取り巻くかっての南京城壁は交通の邪魔になるというので殆んど取壊され、わずかに日本軍が入城したという城門だけが侵略の名残をとゞめて保存されている。私たちは革命烈士の眠る雨花台に花輪を捧げ孫文を祀る中山陵に詣で将介石が総統府を置いた西花園を訪ねて往時を偲んだ。

### ―夢の四馬路、ホンキウの街―

ここから特急で四時間半、水の都、蘇州を経て上海え、黄浦江に面したバンド街に林立する大きなビルは租界時代のなごりをとゞめ夢の四馬路やホンキュの街も昔のまゝである。ガーデンブリッヂは外白渡橋と名を変え、〝犬と中国人、入るべカラズ〟という立札のあった黄浦公園は誰でもが自由に入れる憩いのパラダイスに変っている。人口一一〇万、町並から服装に至るまで中国で最もアカぬけしているのは確かだ。私達の宿は黄浦江を眼下に見おろす和平飯店で昔は英国のサッスーン財閥が経営しキャセイ・ホテルと呼んでいたという。こゝから急行で〝天に天国、地に杭州〟といわれる風光明眉の杭州に遊び数々の伝説を秘めた西湖に舟を浮かべて中国の旧正月を楽しみ再び広州、香港を経て帰国したワケだが四十日に亘る訪中の旅を通じて特に深く心に残るのは、どこを歩いてみてもチリ一つない掃いてナメたような道路の美しさ、泥棒、スリのいない安心感、公共物を愛する高度の道徳心、友好的な対日感情などである。そして彼等中国人民の祖国再建えの合言葉は較べ、学び、追いつき、助け合い、追い越す、いわゆる五好の精神と〝胸には祖国を、目には世界を〟であった。解放后わずか一五年、しかしそこには汚職と貧乏、泥棒とカッパライ、ハイと蚊と南京虫、汚い泥沼のような中国はどこにも見られなかった。

紙面の都合もあって中国見てある記はこの稿をもって終らせていただくが若し許されるならばいつの日かまた再び新生中国を訪れ躍進のあとを見てみたい、そんな願をこめて筆をおきます。愛読多謝

（おわり）

筆者は中国側の招きで訪中した福島県労協訪中使節団員で平市松村病院労組執行委員長

（写真は平頂山に花輪を捧げる訪中使節団、左から二番目が筆者）

× × ×

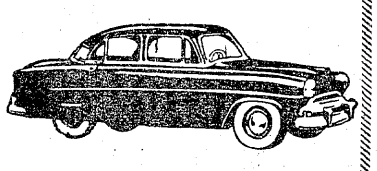
家具のデパート
丸ほん
平市三丁目　電5131（代表）～3

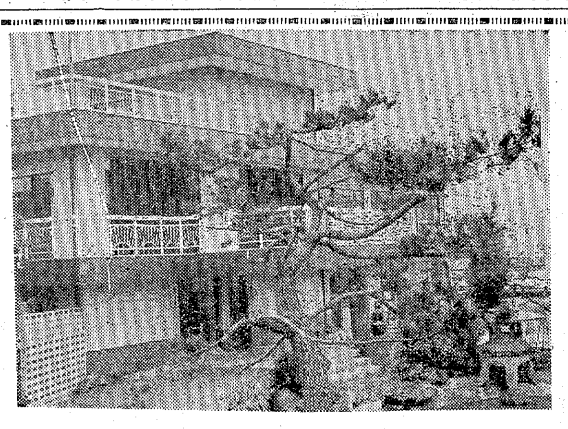
技術と信用の店
家具のセンター
ナガキ
平市三丁目　TEL4535

内科・小児科
後藤医院
平市古鍛冶町　電三〇三六

旅は安心して
泊まれる宿
旅館賠償責任保険加入
日本交通公社協定旅館
日本観光旅館連盟会員
旅館
甲陽館
平市駅前電（代）3181

安全、便利、無線車完備
平営業所　二一七五・二六四〇
好間営業所は　五三七二
草野営業所は　五六四七
平市二丁目
尼子タクシー





結婚式に
御会合に
御宿泊に
明るく　広く　爽やかに　そして静かな
日観連旅館
日本交通公社協定旅館
ホテル報徳
TEL（平）5522代
東京案内所　台東区上野花園町13電（828）3607

平競輪
発売　11時30分
前節　6月　18・19・20
後節　25・26・27
7月　2　3　4　9　10　11

# 産文祭経続に決る

市町村の合併がひっかかるため注目されていたこととしの平地方産業文化祭打ち合わせ会はこのほど市役所で開き、公会堂本館と日本間の廃止に伴う問題などを取り上げて協議した結果、いわき市になっても平地方の催しとして昨年どおり実施することをきめた。このため平地方産業文化祭実行委員会を設け第一期展は九月下旬に産業機械展と商工館、第二期展の文化関係は県芸術祭にそう意味で十一月初め市民会館で合同発表会と展示会を、農業関係は収穫後でなければ開催不可能ということから合併後であっても開く開催不可能ということから合併後であっても開くこととし、十一月下旬に平二高、平工体育館、千草洋裁、勤労青少年ホームなどを利用して農林水産展、観光物産展、畜産展、農具展、植木市などを行なうことにした。

# 平産業会館建設へ

## 関係者打合せ決定

産業会館＝仮称＝建設準備打ち合わせ会はこのほど平市役所で開き、商工農林関係団体代表が参加、満場一致で建設に賛成した。議事に入って次期打ち合わせ会の七月初めまでに各団体ごとに所要室内面積特ち寄って建て物の規模をきめることにし、代表委員を選出して実行委員会を設け前向きで建設を促進することにした。

また法人格については会社組織と社団法人組織の二案が出たが、それも今後の打ち合せ会の中で融資関係とにらみ合わせてきめることにした。

# 19日から夏まつり

平市夏まつり打ち合せ会はこのほど平商工会議所に関係者が集まって開き、今年は商店会連合会が中元売出しを六月十九日から七月三十一日迄と早めに実施するので夏祭り期間も六月十九日から流灯の八月二十一日までと決めた。

名物七夕祭りは八月六、七八の三日間、盆踊りは十四日から十六日まで三日間としたが、平市商店会連合会では特別行事として二本松市のチョウチン行列を誘致してはどうかという案もあり、今後検討することとした。

## 灰皿

### 頽廃する道義

科学が進むと道義はすたれると云われるしかし科学が進んだからとて道義は尊重すべきだと思う道義のないとこに美しい社会はないからだ。ところが小生は少年時代から魚釣りが趣味で五十年もつっているがいまの時代ほどいやな思いをすることはかってなかった。愚痴をこぼすまいと思ってはいるがあまりにも非道いので識者に訴えて参考にしたいのであ

○　○

いま海ではタナゴつりの最盛期だ。浜辺の涼風を浴びながら一尾のタナゴをつり揚げて見なさい。ワットばかりに若いつり師たちが押し掛けてきて、そのポイント付近は他人の浮木で埋まり、小生の糸のいれるスキが無くなって仕舞う。甚だしいのは頭の上から竿を出す非常識者さえある。

○　○

もうこうなっては問答無用である。さつさと引揚げるしか手はないのである彼らは海だから誰れがつってもよいという権利感念しかないのである。他人の迷惑など少しも感じない動物である。

こうした人間を造ったのは学校か家庭か社会か知らない。この先が全く思いやられる。

（魚鱗生投）

# 物語・いわき百年史【2】

荒川禎三

## 輪王寺宮の御潜行

この年五月二十七日、軍艦長鯨丸で輪王寺宮が突如として平潟港に上陸された。体裁よく云って人質、朝廷と幕府間に事あればこの宮を擁して一戦を交える幕府の深謀遠慮にあったというが、覚王院義観という坊主が仏門にありながら、それに輪をかけた途方もない坊主で、慶喜の閉居謹慎のニュースが伝わると客のお傍につきっきりで、ご身辺警護を理由に専横にふるまい彰義隊が惨敗となると上野の山を脱出し、潜行流転し旧幕臣榎本武場にたのんで品川沖から長鯨丸で送りつけて来た平潟港におつきになったのは巳の刻（午前十時）少し前であった。湾内のいまの朱塗の薬師堂前に投錨した。身軽るに移乗され、波打際まで江口伝之助の肩をかり砂浜に降りたたれた宮は御年二十二才立派な青年男子であった。

眼にしみ入る八幡神社から一帯の若葉青葉に一瞬恍惚とおなりになっているげに見受けられた。

その時船番所役人二三人がバラバラと宮の行年にふさがった。

とお付の家臣鈴木安芸守が進み出て、

「こなたは上野東叡山輪王寺の宮なるぞ、無礼があっては成り申うさぬ」

とたしなめた番所役人は

「ハ、ハァー」

と土下座して平伏した。その頃の平潟は江戸ー仙台間随一の貿易港であった。

沖ノ暗いのに白帆が見える…の磯節の那珂湊港以上に繁栄していた。遊廓の数が港繁栄の尺度とするなら、平潟港には十八軒もの遊廓があった。入港船毎に荷役出来ないほどつぶし島田のきれいどころがその当りを徘徊した。菊地半兵衛のあまや、久面の鍵屋の渡辺梅吉郎、同竹次郎、窪田の藤田屋赤津庄兵衛などが、千石船をもって廻船問屋をしていた。奥州各藩の貨物呑吐港であった。ここは棚倉藩の支配下であったが明治の少し前に武州川越の松平直克の領地になった。船番所役人から御陣屋に通報されて直ぐ御出迎の待が馳せつけた。取敢ず庄屋鈴木主水宅で御休息になって、体を清められ医師滝川斉の御検診をうけられた。滝川は泉藩医で江戸に留学していた。安井息軒の門で西郷従男、伊達宗光、雲井竜男、谷干城らと勉強していたが、錦旗軍が江戸城に入り、江戸の街は大混乱した帰国を思案していた折たまたま長鯨丸が品川を出港するのに便乗、宮の侍医格として供奉して来たその後藩主の命によって引続き宮の一行と共に仙台まで供奉した。維新後県参事になった。官途を辞し明治十一年分区編成法による福島県会の副議長になった。その後は大倉村（後の錦村）に引込んで、開業医となり悠々自適鮫川の流れのような淡々たる老後を送った

宮は鈴木主水の手料理で早や自の昼食をすまされ、平服を羽二重の僧衣にお召替えになり、その上一品（いつぽん）の緋の衣をまとわれて、奥州御潜行の第一歩を踏み出された。小笠原壱岐守（棚倉藩）の急しつらえの綱代駕籠にゆられて平潟洞門を越えて、平藩領関田浜に入った。駕籠のの前後は鈴木安芸三十数名の衛士が抜刀して従った。当時の道路は国道第六号線より東の海岸よりにあった。初夏の浜風に頬をなぶられながら先を急ぎ中田村愛又市万で小憩した。呉羽化学の近所だ。宮は「造作をかけた」と茶腕を御下賜になった。それは駕家の家宝となっていまに伝わる。

大島村を経て鮫川渡については、道の両側に松並木が続いていた。旧藩主内藤長政の法号をとった道山林であったが、戊辰戦争で焼かれてしまった。鮫川を渡船した時の船頭は宮のお姿がまばゆく「釈尊の渡御か」と棹さす手元がふるいたという大島村は泉領植田宿は平領であった。助郷の面倒もかけず新田山を越えて甘露寺村（泉村）に入った。ここは本多能登守忠純（ただとし）の城下であった。宵やみ迫ったのでその夜は慈眼院に寛ろがれた能登守は宮御安着の報に家臣矢吹左市郎衣笠五兵衛をつかわして、鈴木安芸守を通じ御機嫌を奉伺した。また道中の諸用事をうかがった医師滝川斉を城中におよびになって江戸出発からの事情も細かにたづね

「側近に医師がいないならこれから先、宮のおちつかれる先まで供奉申上げよ」と命令した。翌朝切捧引手駕籠を献上した。竹製綱代駕籠よりましであった。それは中級武士用のものであった。己の刻御出発に際し、長鯨丸で江戸から鳳従して来た旧藩府の歩兵頭取山に朴市差図役天野雲平同大岩正助等に微笑をたたえて

はなはだ大儀であった無事奥州入り出来た。今晩は安藤鶴翁の城地平泊り、それから中仙道に出て仙台の伊達慶邦の許におちつく予定にしているいつまでも一緒したいが限りがないことから一先づ長鯨丸に戻ってもらい度い。榎本泉州に委細よろしく伝えてくれ」

と江戸からの衛士達と別離された。引手駕籠にゆられて慈眼院を発足された御一行湯長谷領にさしかかると藩主内藤長寿丸の家臣茂原肇が手兵一隊を率いて御道筋に出迎えた茂原らはそのまゝ警護の列に加わった。田ン圃道をすぎて湯本村庄屋比佐太郎左々門宅に小憩して中食をとられた。ここ後の比佐昌平宅である。ここを出発して堀坂峠を越え上綴下綴、西村を過ぎる頃から一行の足並は急ピッチになった御厩村、小島村をすぎると鶴翁のお使い上舘助太夫が御出迎に来た。その助太夫を先峰として尼子橋渡り一路高月台地の八幡宮司飯野磯之進宅に入らせられた。申の刻（午後四時）を少し廻っていた。


お茶のおいしい初夏訪ずる！

◎甘みの部（宇治茶）　香りの部（煎茶）
品評会入選　100g付　750円　100g付　新茶
宇治の香　一号　〃　500円　宇治の司　四〇〇円
同　二号　〃　300円　同　三〇〇円

新発売！
寿印（ほうじ茶）
大門印（ほうじ茶）

大勝園茶舗
平市三丁目
電二三九六

東北が生んだ本格的スーパー
フジコー
平　店　でんわ（平）　7171
小名浜店　でんわ（磐城）②4191
植田店　でんわ（勿来）②2171

株式会社
常磐ヤンマー製作所
社長　新妻良平
平市一丁目
電四三二六・四三二七

平名物手つくりの味
いわきあられ
味覚堂
平市古殿治町七
真田昌秋
電（平）三九二二

おいしい
パンとケーキ
市川パン店
平市中央通り　電二九三六
三十米通り支店　電五九一三
工場　旧城跡　電五九〇六

平の代表的土産品
平の生んだ世界的作曲家八橋検校の
作曲せる名曲「六段の曲」を記念する
銘菓　六段最中
六段本舗　平凡　平駅前
電　2,506

# アユ漁解禁近づく
## 今年こそ豊漁模様

七月一日は待望のアユ漁解禁日である。香り高く、颯爽としたその容姿、魚のなかの魚一匹と威張れるアユ、早くも天狗たちは竿や釣り用具の手入れに余念がない。今年は春以来の降雨に恵まれて各河川の水量は豊富であるためか海からそ上しているアユの数はかってないほどの多数だと云われエサの水垢も多いので肥育もよさそうだとのことだから近年にない豊漁に恵まれるだろうとのことである。

石城地方でのアユ漁のできる河川は木戸川、高瀬川、サメ川、夏井川などがあり、近年どの川も砂利採取で荒らされたたが、その採取も大体終ったので多少沈着き状態である。先づ木戸川だが昨年は友づりポンコづりは好かったがドブづりは殆んど駄目だったそれはドブ場所の殆んどが砂で埋まったためだったが、今年は昨秋の大雨で砂が流されたためドブづりも可能になり一本橋下の竹林のところが石垣の提防が新設されたがその付近が深く流れて友づり、ドブつり場になったと云われ国道橋上下のザラ瀬などよさそう、アユのそ上数も多く肥育もよいので木戸川は大いに期待されそうだとのこと、

サメ川は漁協組の森合事務の話によると水量が多いためか、かってない多数の稚アユがそ上しているので高柴ダム下流の本流には沢山入ってきているので解禁日から好漁に恵まれるだろうとのことだ。稚アユ採捕も近年になく多く四時川に十三万、高柴ダム上に十七万、入遠野川に四万、小室川、古殿川に四万、計三十八万尾を放流したが、放流したものは五月以来六月にかけて行ったもので肥育は充分でないので、七月なかばごろから釣った方がよいと思うと云っている。本県内にビア湖産稚アユが送ってこないのでサメ川物を県から所望され飯坂の摺上川、また茨城の久慈川などにも送っている。

夏井川は例年大した期徒ができない場所だが、今年は水量が多く、春以来引続いて愛谷セキを水がオーバーして流れているため魚道や江筋から多数そ上したと思われ、例年にないつりが出来そうである高瀬川なども砂利とりが終ったのでアユの数は多いと云われる。

## オイカワ夏ブナ

海岸よりの河川のフナは四月中に産卵を終り湖沼や河川上流の冷水の場所も六月初めまでに産卵を終ったようで一時休息、食いが止っていたがその静養期も終って、夏ブナのつれる時期が訪れた。夏ブナは大型はどこかに潜んであまりつれないが、小ブナは殆んどどこでもつれ藤間沼などに賑っているとのことだ、いま盛んにつれているのはオイカワだ。オスは十五センチ級になり赤、青、黄、黒、などの色がついて綺麗で相当手ごたいがあり、サメ川、夏井川、大久川など流れの早い深場ならどこでもつれる。浅場でも多少濁っていればかかるがオイカワはなかなか敏捷な魚で静かにして場所から遠ざかって釣るのがよい。まきエをやれば一層功果があり、エサはサシでよく、これから晩秋までつれるので楽しめる。オイカワは美味であることが近頃ようやく知られるようになってきたが、つる方法はイワナヤマベつりの手法をやれば殆んど間違いなくつれる。朝夕がよくつれる時期である。

## ままあの成績
### 那珂川へ6遠征記

茨城の那珂川、久慈川は六月一日にアユ漁解禁した。筆者はつり友遠山勇氏と新車をかって二人で前日の午后平を出発白河市のつり友丹治信夫氏宅に一泊、翌朝三時出発、黒磯から寒江へ那珂川の「みたき」と云う場所へ入る。川の南岸から四本の滝が入りそのしぶきのかゝるドブつり場所に入ったのだが夜明どきに既に福島東京方面、地元のつり師たちで一杯寒ぎぎぴしく朝のうちはボツボツしか揚らなかったが、十時ごろから揚り始め大物で十五センチ、普通十センチ級の小ものが多く遠山氏は得意の友づりもやったが友の方は案外駄目でまたドブに戻り元祖と云う毛バリがよく当ってまままあの性績だった。流石に名だたる那珂川だけあって大したもの、このほか平のつり友十数名も久慈川、那珂川へ押し掛けたが期待したほどの好漁ではなかったそうだが、それは概して解禁当日の寒気がわざわいしたためだったようだ。（田原魚鱗記）

## 図書館と公民館建設へ

平市は市民会館を新築したので公会堂を閉鎖公民館も移転しなければならなくなったので新たに要望されている図書館と公民館を市民会館わきに建設する計画をたてゝいる工費は一億二千万円を予定している。

## 福島工専と校名変更か

国立平高専校はいわき市と新市名がなるので校名変更の必要に迫られ種々研究中だが全国的な学校であるため福島高専と改める模様である。

## 川柳
### 龍城から
渡辺一角作

梅十のあじが日本の古い味
いい日和鶏高らかに空をほめ
一枚の舌はかくして再出馬
山の芋無きずの
ままに掘る根気
気短かでバラバラ
に掘る山の芋
場によって珠数を忘れぬ
未亡人
院長の兄薬局にひげがあり
健康をほめて替えてく家庭薬
凡亭主ぬる湯賢妻あつ湯すき
仁丹をかんで講演遠くきき
共稼ぎ小さく生きる家をたて
五十年おなじ苦節の松の鉢
寄付もらいあとは信抑自由論
代変り木が石石が金になり
行儀よく坐ると
スダレ迄きれい
簡素化の腹をたたせる飾り窓
田舎町女医珍しいスクーター
村の子ら樹下ふくしうの箱机

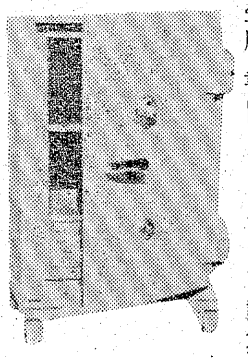

集団用駆虫剤
◇常磐マクサント錠◇
福島県小中学校長会
福島県学校保健協会
第島県学校薬剤師会
推薦
特製品　ネオマクサント錠
防疫薬品一農薬製造元
家畜薬発売
常磐化成株式会社
平市大町28　電370・6560

印刷加納活版

7月1日アユ漁解禁
アユ用具一切揃えました
つり竿製造
西丸釣具店
平市新川町
電話六二二七番
釣具店
うらべ
平市鍛冶町
聚楽館裏通り
電話三〇九〇番
釣具店
吉田屋
平市五丁目
電話四六五四番
釣具問屋
松屋商店
平市七丁目
電話四四四七番

伝導要品
ベルト　プリー
平公会堂前
加藤商事
電二五八七

財団法人
松村病院
診療科目
院長　松村亨
内科　部長　松村亨
胃腸科　副院長　谷川国男
呼吸器科　部長　金子甚蔵
性病科　部長　松谷川国雄
外科　部長　長谷川国男
整形外科　院長　松村亨
神経科　部長　渡辺竜一
産婦人科　部長　白木沢長史
精神科　部長　渡辺竜一
放射線科　部長　金生富雄
コバルト室
本院　平市南町二三
電話（代）二二六一
舞子浜病院　平市藤間字松原
電話（高久局）六二一
城南分院　平市小太郎町一八


萩金庫商会
平市三十米通り
TEL　2631・3352
金庫　書庫　レジスター　計算機　事務機

味じまん
甘太郎の
鯛焼
真根井菓子店
平市銀座通り　電四二五〇

時代と共に
既製服なら
盛高屋
平市3丁目・TEL.3608

安い月謝で楽しく勉強！御入学受け付け中
珠算　柔道　剣道　書道　音楽
和裁　洋裁　華道　編物　舞踊
平市白銀町　電二六五〇　石島公民館

よい時計・よいメガネ・輝くユビワ
ネモト
平市・二丁目TEL.2607

季節の料理
なべ料理
かまし
ばやめ
きし
寿司の江戸川
平市紅小路店　電二七二七
才槌小路店　電三〇二一
平市柳町店　電四八四六

ぜひお試し下さい
トイレにサットひとまき
悪臭一掃
ウジも殺す
モクサンがギンナンDになりました
新発売
ギンナンD　400mℓ　¥200

平市大舘1電7434　モクサン本舗報徳物産